

適期に散布で被害を防ぐ 「斑点米カメムシ類の薬剤散布適期連絡システム」

「斑点米カメムシ類の薬剤散布適期連絡システム」は、水田の位置情報や作付けする水稻品種、田植え日を入力すると、その水田での斑点米カメムシ類の防除に最適な薬剤の散布時期を予測し、利用者に通知してくれるシステムです。適切な時期に農薬を散布することで、斑点米カメムシ類による斑点米や不稔籾の発生を防ぐことができます。

☆ 技術の概要

1. 本システム（図）は、入力された水田の位置情報や作付けする水稻品種、田植え日をもとに、メッシュ農業気象データを用いてその水田での水稻の生育や斑点米カメムシ類の発生時期を予測します。
2. これら予測をもとに、斑点米カメムシ類を防除するための薬剤の散布適期のほか、斑点米カメムシ類の水田への侵入を予防するのに最適な草刈りの時期が画面に表示されます。予測結果は散布適期の前などの必要な時期にメールで受け取ることも可能です。
3. 国内8県での現地実証の結果、薬剤の散布適期の的中率（誤差±3日以内で適期を予測できた確率）は92.6%でした。



図 「斑点米カメムシ類の薬剤散布適期連絡システム」の使用方法和予測結果の例

☆ 活用面での留意点

本システムは実証目的の場合は無料でご利用いただけます。営農活動での利用を希望される場合は本システムの機能を搭載した民間サービス（有料）をご利用いただけます。詳しくは農研機構植物防疫研究部門【sh-IPP-Koho@naro.go.jp】にお問い合わせください。

本技術は農林水産省委託プロジェクト研究（JPJ011280）「省力的なIPMを実現する病害虫予報技術の開発」（課題ID:22677527）」で開発されたものです。

（農研機構・植物防疫研究部門 高篠賢二・松倉啓一郎）